

## 応急仮設住宅における自治会の設立状況について（概要）

今後、長期化する恐れのある応急仮設住宅の生活においては、各団地において入居者が抱える課題等の情報集約を図り、自ら主体的に課題の解決を図っていくことが必要であり、入居者の孤立化等を防止する観点からも、自治会組織の立ちあげを急ぐことが重要である。

こうした観点から、自治会の設立状況について、被災県から定期的な報告をいただいているところ。

### 被災3県における自治会設立状況（3月9日時点）

#### 1. 概 要

- ・ 建設中や住民が少数など、一部の団地を除き、自治会が設立が進んでいる状況。
- ・ 設立済みの団地数は全体の88.9%となっている。
- ・ 設立準備中の団地においても、自治体職員やNPOなどが団地に出向き、自治会の必要性などを説明する会を開催するなど、自治会の立ち上げを促している。

#### 2. 被災3県ごとの設立状況（地域の自治会への組み込みも含む）

|       |       |                |         |
|-------|-------|----------------|---------|
| ・ 岩手県 | 92.4% | （前回報告時（2/10時点） | 90 / 5% |
| ・ 宮城県 | 83.4% | （              | 82.3%   |
| ・ 福島県 | 94.7% | （              | 92.4%   |

※（参考）阪神・淡路大震災の時の自治会設立状況：63.1%（「阪神・淡路大震災に係る応急仮設住宅の記録（兵庫県）」より）

#### 3. 【設立準備中】など自治会が設置されていない団地の主な状況

- ・ 自治会設立に向け自治体、関係団体と住民で、自治会設立の説明会を開催している。
- ・ 準備委員会を設置し、準備委員が設立に向けて動いている。
- ・ 説明会を開催したが、自治会設立の理解が得られなかったため、再度説明会を開催する予定。
- ・ 入居戸数が少数であるため など

# 応急仮設住宅における自治会の設立状況

平成24年3月9日現在

|             | 岩手県 |        | 宮城県 |        | 福島県 |        | 計   |        | 自治会設置率       |
|-------------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|--------------|
| 設立済み        | 232 | 73.4%  | 243 | 60.1%  | 168 | 89.4%  | 643 | 70.8%  |              |
| 地域の自治会へ組み込む | 60  | 19.0%  | 94  | 23.3%  | 10  | 5.3%   | 164 | 18.1%  |              |
| 設立準備中       | 23  | 7.3%   | 64  | 15.8%  | 10  | 5.3%   | 97  | 10.7%  |              |
| 未設置         | 1   | 0.3%   | 3   | 0.7%   | 0   | 0.0%   | 4   | 0.4%   |              |
| 小計          | 316 | 100.0% | 404 | 100.0% | 188 | 100.0% | 908 | 100.0% | <u>88.9%</u> |
| 建設中又は未入居    | 3   |        | 0   |        | 8   |        | 11  |        |              |
| 合計          | 319 |        | 404 |        | 196 |        | 919 |        |              |
|             |     |        |     |        |     |        |     |        |              |
| (参考)全団地数    | 319 |        | 406 |        | 183 |        | 908 |        |              |

※宮城県と福島県では、1団地内に複数の自治会が設立されたり、複数の団地を統合して自治会を設置している場合があるため、合計と全団地数が異なる。